

母子手帳で母親の風疹抗体価もチェックを！

わたなべ小児科医院（石川県金沢市）
渡部礼二

まず、抄録の症例数と相違があるのをお許してください。
昨年末、健診で母子手帳を見ていると、妊娠中の風疹抗体価が低いのかかわらず、分娩後ワクチン接種をしていない母親がいるのに気付きました。その様な妊婦は産後、全員接種しているものだと思っていたのです。それ以降、健診の際には、抗体価と接種の有無をカルテに記載してきました。母子手帳にその抗体価を記録してあるもの、検査伝票が挟まれているもの、記載も伝票もなく母親に直接聞いたりする場合もありました。今日は今年1月から6月末までの半年分のその集計であります。

**第24回日本外来小児科学会年次集会
COI 開示**

筆頭発表者名： 渡部 礼二

**日本小児科学会の定める利益相反に関する
開示事項はありません**

風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言 平成16年8月

1. 妊婦の夫、子供及びその他の同居家族への風疹予防接種の勧奨
2. 定期予防接種勧奨の強化
3. 定期接種対象者以外で風疹予防接種が勧奨される者への接種強化
 - 1) 10代後半から40代の女性、このうちことに妊娠の希望あるいはその可能性の高い女性
 - 2) 産褥早期の女性

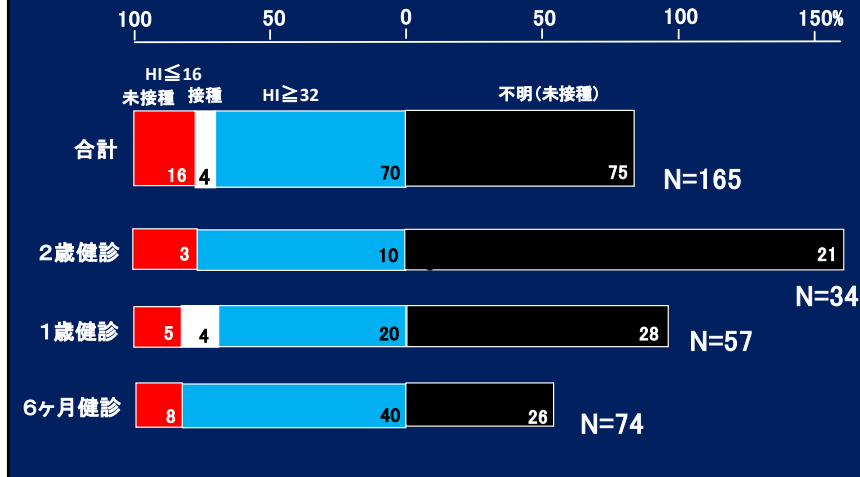
妊娠中の風疹HI抗体が陰性または低抗体価(HI価16以下)の女性は、出産後早期(産褥1週間以内の入院中、もしくは1か月健診時に行うことが推奨される)に接種を受けることが強く勧められる。(その際の接種記録は、母子手帳の児の欄には記録せず、妊娠経過の欄或いは産後早期の経過欄に母親への接種であることを明記する。または、予防接種証明書を発行し、本人の記録として残す。)

厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症研究事業分担研究班

スライドは、2004年の風疹流行の際に出された厚労省からの緊急提言であります。風疹のHI抗体価が従来の8倍以下から16倍以下に変更され、その16倍以下の妊婦には分娩後早々にワクチンの接種勧奨が勧告されています。ワクチン接種は社会免疫の面もありますが、次の児の先天性風疹症候群(以下CRS)への備えでもあります。

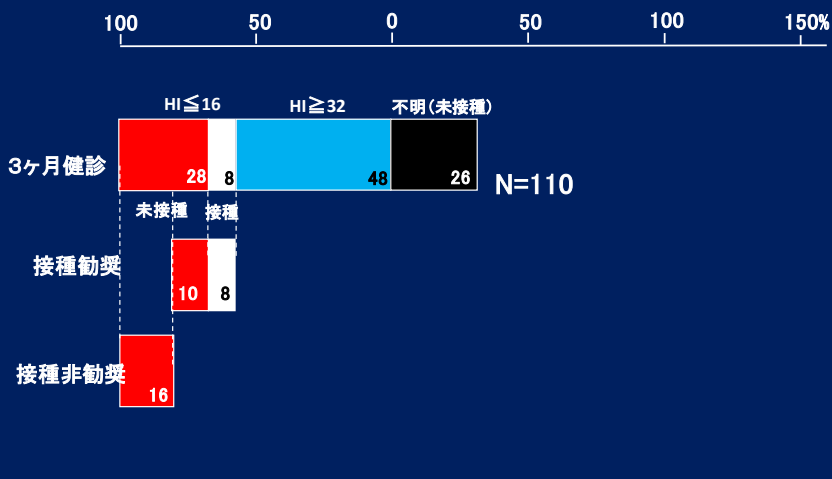
個別乳幼児健診(6ヶ月・1歳・2歳)での調査 (当院)

2014. 1~6



その半年間の集計です。予防接種の時もチェックをしていますが、今回は健診の時のものだけをまとめました。金沢市の個別健診はスライドの下から6ヶ月、1才、2才でなされています。一番上はその合計であります。抗体価の判明している症例数を100として表しました。スライドの様に月日を経ると不明の割合が多くなります。問題なのは抗体価16倍位以下の20例中4例しか産後接種していないということであります。しかも、その4名の内2名は当院でHib等の予防接種の時に指摘した親でありました。また2名は低抗体価のままですでに次子を身籠っていました。

乳幼児集団健診(3ヶ月)での調査 (市内某福祉健康C)
2014. 5

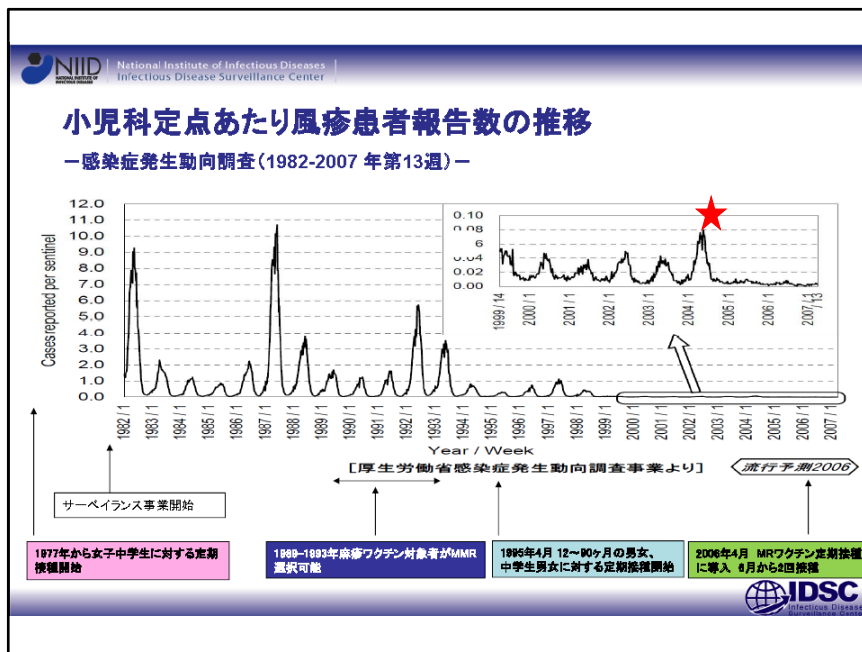


この事実を金沢市に連絡したした所、市内の1つの福祉健康センターで、5月に3ヶ月児の集団検診で調査して呉れました。公表の許可を得ております。ここでは36名の抗体価の低い母親がおり、その内8名がワクチンの接種していました。ただ、ワクチンの接種勧奨を熱心にされている大手の産婦人科がこの福祉健康センターの近くにあり、場所柄そこで生まれた児の健診が多くありました。接種勧奨がしてなければ当然ですがワクチンの接種は全くされていませんでした。

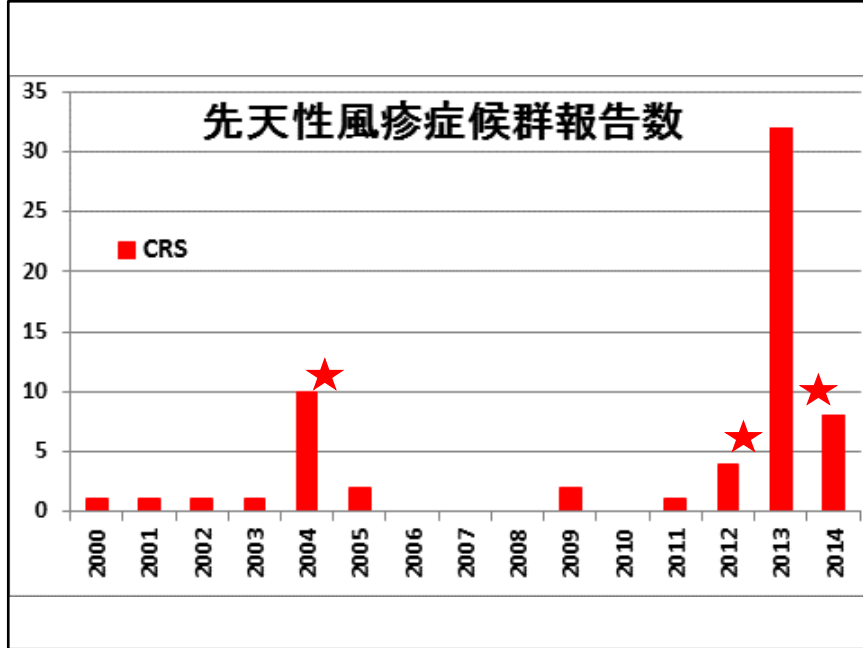
産科では

- ・ 低抗体価の産褥婦にガイドライン通り
ワクチン接種・・・一部
- ・ 抗体検査未実施
- ・ 希望者のみ抗体検査
- ・ 2子以降検査未実施
- ・ 低抗体価も接種勧奨せず
- ・ 低抗体価を従来の $HI \leq \times 8$ で判断
- ・ 授乳中は接種せず
- ・ ワクチンの在庫(ー) ..などなど色々

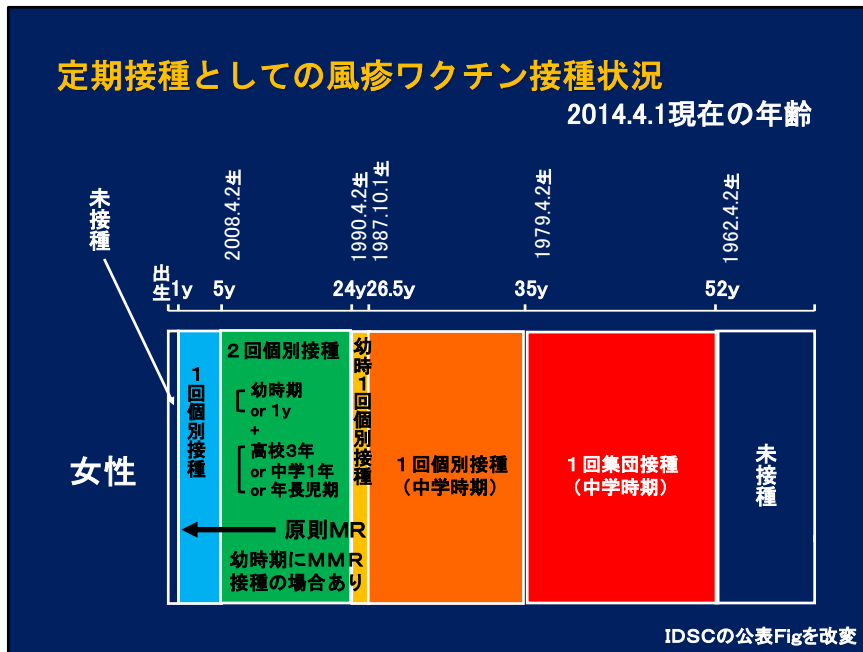
母親から聞いた話を総合すると、産科では、風疹の抗体価検査自体実施していない産科。希望者だけ検査をしている産科。2子以降は検査していない産科。抗体価を古い基準で判定している産科・・・等、実際色々ありました。



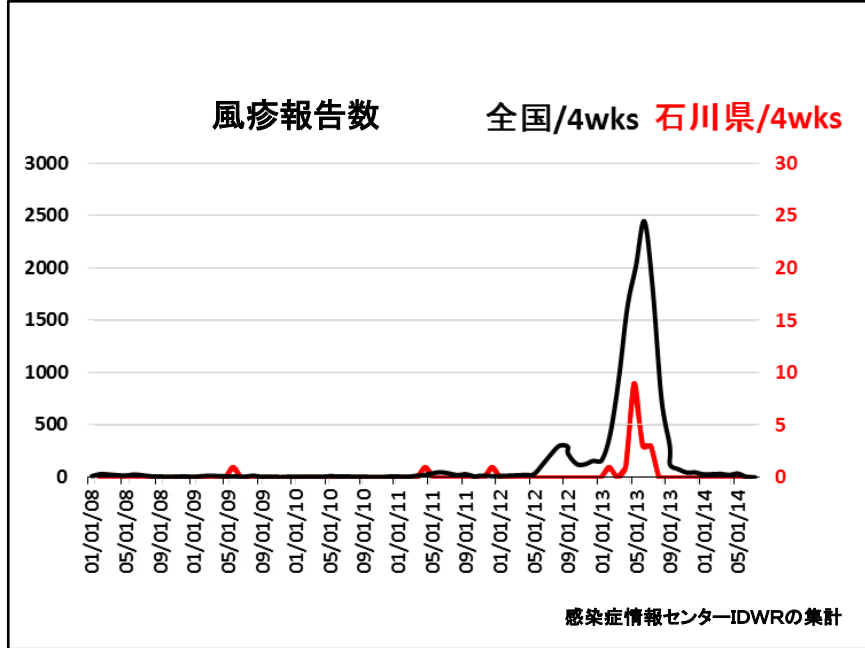
これは感染研の表ですが風疹は5、6年毎に流行しており、この2004年の流行時に10名のCRSが報告され、先程の厚労省からの緊提言が出された訳です。



一昨年に風疹の大流行があり、昨年は32名、今年
は8名のCRSが報告されております。緊急提言と
同様のアナウンスが日本産婦人科学会と日本産婦人
科医会から、更に今年3月に再度厚労省から出され
ました。星印の所です。



母親の年齢層であります。今年の4月時点での年齢で表してあります。出産年齢層は中学生の接種から就学前の接種に切り替えた時期や、MMRワクチン騒動の年齢層であります。



石川県は流行の規模は小さかったとはいえ、全国で風疹が流行し、マスコミが騒いでいる最中の妊婦であります。普通の人よりCRSに関して意識が高いはずの妊婦が、先ほどの接種状況であります。このような風潮は石川県だけではないようです。

一般への啓蒙が必要ではありますが、それよりも現場の産科医への啓蒙がもっと必要なのではないかと考えております。

平成30年(2018)6月30日 金沢市医師会より 第 40

**低風疹抗体価の妊産婦は分娩後早々に風疹の予防接種を！
乳幼児健診時は母子手帳で母親の風疹抗体価もチェックを！**

担当理事 渡部 礼

1世帯から昨年にかけての風疹の風、その爪痕として本年度は23例、本年度は既に8例の先天性風疹症候群(以下CRS)の報告が感染症学センターになされています。

CRSを予防するには妊娠する前に風疹に対する抗体を維持して適切に罹患しないようにすることが、乳幼児健診時に母子手帳をチェックして接種の勧奨を促すことによる。抗体が不明と判定され、抗体価が低い(0.5IU/ml)妊婦は妊娠20週までに風疹に罹患した場合にCRSを発生するおそれが多いので、人数を数えるなど積極的に罹患しないよう注意がなされる。風疹に罹患せず抗体価が低いまま分娩したとしても、次子を妊娠する前(今回の産前早期)にワクチンの接種を勧奨することによっている(労務省・日本産婦人科医会)。

金沢市内の産科医科で今年1月1日から4月に9ヶ月、1歳、2歳の乳幼児健診制度で受診した際、母子手帳で妊娠中の風疹の抗体価を判るものだけ記録し、残ったものにはワクチンの接種の有無を問いた。15名の健診児の内田で23名は0名、3名は1名、不明は1名であった。田5(50)15名の母ワクチン接種しているのは分娩後に1名だけであった。また1名はワクチン未接種のまま次子を身構っていた。

同様の調査が5月に3ヶ月児の集団健診で市内の1つの保健センターで11回テストが行

石 産 医 誌 第 8 号
平成 28 年 6 月 3 日

会 員 会 位

石川県産婦人科医会
会長 坪 田 俊 一

産後の風疹ワクチン接種数について(お祝い)

風疹の胎 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今般、金沢市内の某小児科院から、産褥期の風疹抗体価が異常に低いという診断を受けました。以下は、6ヵ月・1歳・2歳児健診時の母親の風疹抗体価の統計です。

2歳児健診	総数 30 : 516 3名 (内1名は接種前に妊娠)、232 6名、不明 21名
1歳児健診	総数 42 : 516 4名 (内1名は分娩後接種)、232 13名 (内1名は上の児の時の節)、不明 25名
6ヵ月健診	総数 69 : 516 8名 (全て未接種)、232 30名、不明 25名

◆138名を判明している15名の産前抗体価で産後ワクチンを接種したのは1名だけ。
◆胎児は抗体が低くワクチンの必要性がある事も知らなかった。
(注：不明はアンケートの記載がない、抗体が母子手帳に使っていないもの)

このように、産後に風疹抗体価が非常に低いことがわかります。このような状態で胎児に風疹が流行すればCRSは必至です。産後産前におかれましては、抗体価の低い産褥期に産後早々の接種勧奨をお願いいたします。

石川県では、今年5月に各産婦人科医に県産婦人科医会が通達として、また6月には金沢市医師会が機関誌に接種勧奨を勧告してくれました。

☆風疹ワクチンを受けましょう☆

お母さん自身へのワクチン接種のすすめです。
本日健診～予防接種に来られた児がまだ胎内に
いる時に調べた風疹の抗体価が低く、風疹にか
かる危険があります。

妊娠20週までに風疹にかかると、胎児に感染
し白内障や緑内障などの眼症状、先天性心疾患
、難聴などを引き起こします。先天性風疹症候
群と呼ばれています。

妊娠が判明するのは早くて2ヶ月目（妊娠4～
7週）、通常3ヶ月（8～11週）

なのでそれからの予防では遅く、接種もできま
せん。

次子を妊娠する前にワクチンを接種し、風疹に
かからないように予防して下さい。

なお、接種後2ヶ月は妊娠しない
ように。

わたなべ小児科医院
TEL 076-243-0200



母子手帳のチェックは早ければ早いほど良いわけで、
2ヶ月の予防接種の 때가適しています。次回接種の
時に催促も出来ます。また、院内出産の1ヶ月健診
がそれよりもずーっと適切な時期かと思われま
す。これはそのような母親に手渡す当院の葉であります。



我々小児科で接種を勧めたり、産科へ抗体価の問い合わせをしたりすることで産科医の意識を高めることができると思います。

産後の風疹ワクチン接種は産科だけに任せっきりにしないで、小児科医も積極的に関わり、一人でもCRSの発生を減らそうではありませんか。

結語

母子手帳で母親の風疹抗体価もチェックを！

結語は演題名そのものであります。
ありがとうございました。